

尾瀬国立公園の公園区域及び公園計画の変更
に関する意見の募集（パブリックコメント）について

1. 概要

令和2年11月4日（水）から11月17日（火）までの間、今回の変更に対する国民の皆様からのご意見を募集した結果について公表します。

また、中央環境審議会においても、これらの結果を報告します。

2. 国民の皆様からの意見募集の結果

【意見提出数】

- | | |
|-------------|----|
| ・電子メールによるもの | 1通 |
| ・郵送によるもの | 0通 |
| ・FAXによるもの | 0通 |

【整理した意見総数】

- | | |
|-----------------------------|----|
| ・尾瀬国立公園の公園区域及び公園計画変更案に関するもの | 0件 |
|-----------------------------|----|

3. 今後の予定

- | | |
|--------|---------------------|
| 令和2年1月 | 中央環境審議会に諮問 |
| 令和2年1月 | 中央環境審議会より答申 |
| 令和2年2月 | 中央環境審議会の答申を踏まえ、官報告示 |

尾瀬国立公園の公園区域及び公園計画の変更に関するパブリックコメントの実施結果

意見番号	意見	件数	対応方針
1	<p>公園計画変更書について</p> <p><意見内容> 「2 指定理由の変更内容」の「4利用」(3ページ目)、および「3.地域の概要の変更内容」の「エ 人文その他の特殊景観」(5ページ目)に「ゴミ持ち帰り運動、マイカー規制、排水対策等の自然環境保全活動に先進的に取り組んできたことから、「日本の自然保護運動発祥の地」とも呼ばれている。」と記述がある。 確かに、近年の尾瀬では環境省がリードして先進的な保護活動が行われているが、しかし、それらの取り組みは近年のことであり「自然保護発祥の地」と呼ばれる所以ではない。 尾瀬の自然保護運動は市民が数々の開発行為に異を唱え、反対運動を展開してきたことから始まっている。1949年に電力会社の電源開発計画に反対し、尾瀬保存期成同盟(当会の前身)が学者・文化人・登山家を中心に結成され、請願運動を行い、尾瀬の自然保護の重要性を訴えてきた。 公園計画は指定された国立公園を適正に保護し、利用するための方針を明らかにするもの。このような重要な計画文書に尾瀬における自然保護の重要な歴史を歪めるような記述があってはならない。「日本の自然保護運動発祥の地」と尾瀬が呼ばれるようになった経緯に関しての正しい記述への書き換えを求める。</p>	1	<p>頂いた御意見を踏まえ、該当箇所について、以下のとおり修正いたします。</p> <p>(現行)・・・尾瀬国立公園は、日光国立公園尾瀬地域の時代より、ゴミ持ち帰り運動、マイカー規制、排水対策等の自然環境保全活動に先進的に取り組んできたことから、「日本の自然保護運動発祥の地」とも呼ばれている。</p> <p>(修正後)・・・尾瀬国立公園は、豊富な水資源から、水力発電計画や分水計画等の開発計画が打ち出され、それらに反対する自然保護運動も大正時代より始まっており、「日本の自然保護運動発祥の地」とも呼ばれ、ゴミ持ち帰り運動、マイカー規制、排水対策等の自然環境保全活動に先進的に取り組んできた。</p>